

ベトナム研修日記

BM 学群 2 年 長友舞

3 月 3 日(火)

「ベトナム到着」

到着時刻よりも 40 分程遅れて、ベトナムの首都ハノイに到着。

目的地ダナンに行くには飛行機を乗り換えて、ハノイから 1 時間程で到着。

ハノイからダナンまでの機内の中はベトナム人や観光客がたくさんいて、機内の中でのマナーの悪さに驚きました。座席を倒し、テーブルの上に足を上げ、挙句の果てにはダナンに到着するや否や、機内の中で携帯を使用していたり、とマナー違反

をしている人がたくさんいました。初日から日本との違いを見ることが出来たような気がします。

ダナン空港に到着すると、外国語大学の先生 3 人の方が私たちを迎えに来てくれた。ホテルまで案内してもらい、お腹が空いたということでベトナム名物のフォーを食べに行った。あっさりとした味で私たちの口にととても合いました。明日からいよいよベトナム研修が始まるので、たくさんのことを吸収して日本に帰りたと思う！

(日本を出発！)



3 月 4 日(水)

「ベトナムの朝」

ベトナムの朝は早く、目覚ましが鳴る前にバイクのクラクション音で目が覚めた。朝 5 時半ぐらいに目が覚めた。ベトナムの気候は少し蒸し暑いくらいだが、半袖でとても過ごしやすい陽気。だが、空はどんよりとしていて、バイクの排気ガスなどによって空気も重い感じがした。ベトナムの朝は日本での電車の通勤ラッシュと同じように、バイクの通勤・通学ラッシュだった。朝食は、毎朝 7 時にホテルの従業員が部屋まで持ってきてくれる。今朝の朝食はフォーだった。



(ベトナムの早朝)

「ミーティング」

8時に外語大の生徒がホテルまで迎えに来てくれて、まず銀行に行ってお金を換金した。銀行まではタクシーで行ったのだが、タクシーの初乗りは日本円だと約60円ぐらい。安すぎます。ベトナムの通貨は“ドン”。

ホテルから学校までは歩いて3分程の場所にあった。外語大にはバイクを止める駐輪場があった。外語大に着いて、日本語科担当の先生方とこれからの授業の事についてミーティングした。学校でもダナンでも、私たち日本人は珍しいみたいで、たくさんの人に声をかけられたり、質問されたりと、私たちに興味を持ってくれてとても嬉しかった。生徒たちがどれぐらい日本に興味を持っているのか、その姿勢だけで十分に伝わってきた。

「授業：会話～1年生～」

先生と授業の前に打ち合わせをして、いざ教室へ。生徒のみんなは快く私たちを受け入れてくれて、片言のベトナム語で自己紹介をした。この授業での私たちの役目は教科書に載っている会話の例文を大きな声ではっきりと読むこと。生徒たちの様子は日本語を勉強することが本当に楽しそうで、先生の話も熱心に聞いていた。その姿勢は今の私にとっても必要なことだと思った。ゴック先生の授業はとてもおもしろく、何よりも先生自身が体を使って生徒たちに日本語を教えていて、先生もとても熱心な方だった。こんな先生に授業してもらったら勉強も楽しいんだろうな、と思った。



(会話の授業の様子)

「買い物&飲み会」

ダナンで1番大きなスーパー(ビッグシー)に外語大の生徒さん達が連れて行ってくれて、物の安さに驚いた。インスタントラーメンが1袋25円とか日本ではありえない価格だった。私たち日本人にとってはとても安いけど、ベトナム人にとってはそれでも値上がりしたと言う。

買い物が終わって、日本語科担当の先生方と一緒に晩御飯を食べた。お店に行くと、お店の床はゴミだらけでビックリした。でもその光景はベトナムでは普通らしい。ゴミは床に捨てるのがベトナムでは一般的なのだそう。日本ではありえない光景。お酒は基本ビールで、正直日本ではビールは苦手なのですが、試しにベトナムのビールを飲んでみたら日本のビールよりも薄味で飲みやすかった。その日は人生で初めて“カエル”

を食べた。カエルと聞いて食べるつもりじゃなかったけど、日本人の先生方に勧められ嫌々ながら食べてみると、実際は鶏肉みたいでとてもおいしかった。これをきっかけに、せっかく違う国に来ているのだから、その国でしか味わえない食べ物を存分に堪能しようと思う。



3月5日

(カエル料理)

「授業：会話～2年生～」

2限目7時55分から授業が始まり、日本人の木澤先生の授業だった。今日の授業は私たちがいるということで、それぞれ5つのグループに分かれてダナンとホイアンの食べ物やお勧めの場所について紙にまとめて発表してくれた。生徒たちが紙にまとめている間、私たちは各グループを回りながら日本語の難しい単語の説明をしたりした。その時に自分の日本語力のなさにショックを受けた。その単語をどのように説明すれば、生徒に伝わるのか分からなかった。自分の言語力がないことを改めて知った。

「出会い」

日本人の松林先生に連れられて一緒にお昼御飯を食べに行くと、そこにはすでに数人の生徒がいて、その中に日本人の方が3人いた。その方たちの話を聞くと、3人は横浜国立大学の4年生でベトナムに旅行に来ていた。3人と私たちはすぐに打ち解けて、日本に3年間留学していたカクさんというベトナム人もいた。カクさんは日本語がとても上手でこれから私たちにダナンを案内してくれると約束してくれた。

「2人旅」

次の授業まで少し時間があつたため、私と恵利華は2人だけでホテルの近くにあるオシャレなカフェに行った。店員さんには英語もほとんど通じなくて、ほぼジェスチャーで会話したけど、店員さんもととても優しくて一生懸命私たちの話を理解しようとしてくれた。幸いにもメニューにはベトナム語と英語が書いてあつたため、注文にはなんの支障もなかった。これから私たちの行きつけのカフェになると思う。

「授業：ディベート～特別授業～」

この授業は基本3年生のクラスだが、希望者だけが参加する授業だった。参加していた生徒はある程度、日本語の力を持った人ばかりでとてもレベルが高かった。この授業だけ3人ではなく、私と恵利華の2人だけで、2つのグループに分かれてディベートをした。日本人の西先生から事前にディベートで話し合うテーマを決めてほしいと言われ、

私のグループは“お化粧をすることについてどう思うか”話合った。話合っていくうちに、日本人とベトナム人の習慣の違いを発見することができた。日本では当たり前と思っていたことが、実はベトナムでは当たり前ではなかったり、国の違いは本当におもしろいと思った。また、新しい発見をすることが出来た



(ディベートのグループ)

「バインセオ」

夜、ハン先生・カクさん・ヒューイと私たち3人でバイクに乗って、バインセオを食べに行った。バインセオとはベトナムの有名な食べ物で、米粉で作られたライスペーパーにベトナム風お好み焼き？と野菜を巻いてタレにつけて食べる食べ物。1度食べたら、やみつきになります。ベトナムにいる間にもう一度食べたいと思った。多分ベトナムの食べ物は基本的に日本人の口に合うような気がする。衛生面では少し心配な面もあるけど・・・。

3月6日

「No Power」

朝、ホテルを出る少し前からヘアーアイロンの電源を入れても電源が付かず、壊れたのかと思っていたら、ホテルのオーナーが「今、この周辺は停電している」と教えてくれた。この周辺では停電はよくあることみたいで、まだまだ電力が不足しているために起こることだということを初めて知った。

「授業：聞き取り～2年生～」

今日のクラスは昨日会話のクラスと同じクラスでの授業だった。会話文にAさん・Bさん・Cさんとあり3人それぞれ決めて生徒の前で正確に読み、生徒は私たちの会話文を聞いてストーリーの内容を把握するという授業だった。だけど、先生方の授業の進め方のすれ違いでまだ習っていない文法等があって生徒たちは内容を理解することが出来なかったらしい。先生方は毎週交代で授業をしているため、時々このようなすれ違いがあるらしい。

その後は、2年生と交流を深めるということ先生に頼まれて私たちが日本のゲームを生徒たちに教えた。私たちが教えたゲームは“伝言ゲーム”と“山手線ゲーム”。生徒たちもある程度のルールは把握してくれて、意外と盛り上がった。私たちの計画は成功した！でも、日本語で生徒たちが分かるように説明するということはとても難しいことだと思った。

「市場」

先生2人と一緒に買い物に行き、コン市場という市場に連れて行ってくれた。市場は日本では絶対に見ることの出来ない光景だった。靴や布、物がありえない程山積みされていて偽物のブランドもたくさんあった。見た目ですぐに偽物と分かるので、ある意味おもしろかった。市場では値切ることが基本ルールでベトナム語が喋れない私たちは生徒さん達に頼んで値切ってもらった。市場で初めて、ネズミを見たけどあまりにも大きすぎて悲鳴をあげた。やっぱり、暖かい場所では虫や動物はとても大きいと思った。

この日ぐらいから、だんだんと疲れが溜まってきて早く寝るようになった。



(果物も山積み！！)

3月7日

「交流会」

今日は日本語クラブ主催で私たちのために歓迎会を開いてくれた。司会の子はアオザイ(ベトナムの伝統的な服)と浴衣を着て登場。交流会の内容は、日本語の歌やベトナムの歌、ゲームやひなまつりについての劇などがあった。ゲームでは罰ゲームで前に出て「どんぐりころころ」を歌わされた。まさか人の前に立って歌を歌わされるとは思ってもいなかった。でも、日本では人前で歌えないけど、何故かベトナムでは人前で歌えた。自分にとってはとてもいい刺激になった。私たちもベトナムの伝統的な歌を覚えてみんなと一緒に歌った。交流会、とても楽しかった。



(3人が作ったひな人形)

「海&ハン市場&公園」

交流会は午前中で終わって、少しホテルで休んでから午後からホアちゃん・リーちゃん・ライちゃんと一緒に出掛けた。まず公園に行ってみんなで散歩した。公園には子供たちもたくさんいて素朴な笑顔を見て、思わず写真を撮った。とってもかわいくて、言葉通じなくても笑顔だけで会話って出来るんだと思った。とっても素敵な笑顔だった。この公園にはミニ動物園があって、猿・ワニ・熊と珍しい動物がいた。でも、狭いオリの中に閉じ込められている動物の姿を見て、私は悲しい気持ちになりました。公園の後にはハン市場に行った。前はコン市場だったが、ハン市場もコン市場と同様に物に溢れた市場だった。市場を一通り回った後はダナンの海に連れて行ってくれた。ダナンに来

る前から海がとてもキレイだということを知っていたけど、実際に行ってみて本当にダナンの海はキレイだった。ゴミも全然落ちてなくて砂浜は白かった。気候も暖かいので、3月でも普通に海にはいることは出来るらしい。

3月8日

「ホイアン」

3月8日は世界女性の日という日で、この日は女性は男性から花やプレゼントをもらえる素敵な日だそうです。町のいたるところに花を売っている店や花で飾りつけされていてこの日は町中がとても華やかだった。

私たちはダナンからバイクで約1時間程離れた“ホイアン”という観光地に向かった。ホイアンに行くまでに至る所でリゾート開発が進んでいて、中国の企業が進出してきておりショックを受けた。100年計画と題されてリゾート開発が進んでいる。



(ホイアンの人々・・・)

ホイアンに着くと、やはり観光地ということで外国人がたくさんいた。お店も観光客向けということで値段も高く付けられていることが多いため、必ず値段交渉をするのがベトナムでの買い物の基本だという。ホイアンでたくさんお土産を買った。ホイアンには昔日本人が掛けた橋“日本橋”という橋があり、それが観光名所の一つになっている。ホイアンを出る前にホイアンの海に行った。ホイアンの海もとてもキレイだったが、観光客が多いためゴミが結構落ちていた。やはり、ダナンの海の方が圧倒的にキレイだと思った。でも、何十年後かにはダナンの海もホイアンの海のようにになってしまうのかと思うと、とても悲しくなった。

3月9日

「METRO」

予定表を見ると、今日は7時55分から授業となっていたため、時間通りに準備をしていると生徒から連絡があり授業は午後からになった。午前中が暇になったため、3年生の子たちと一緒に“METRO”という日本で言うと“COSTCO”のような所に連れて行ってくれた。やっぱり、物の値段は日本よりもはるかに安かった。パンも1つ25円～50円くらいで買えた。買い物をすることでその国の私生活も垣間見ることが出来るので、すごく楽しかった。

「授業：翻訳～3年生～」

この授業は日本語で書かれた文章をベトナム語に翻訳する授業だった。この日はベト

ナムの消費トレンドについての文章が配られて、段落ごとにグループに分かれて協力しながら翻訳していた。先生に頼まれて、私たち3人も日本の消費トレンドについて、学校のパソコンを借りて調べた。日本の消費トレンドを6つあげて、1人2つずつ生徒の前で説明した。中には日本人でも難しい言葉もいくつかあったので、その言葉についてはより詳しく生徒に分かるように説明した。授業に参加して、日本語の意味を生徒に説明すればする程、自分の日本語力不足に気づいてショックを受けた。

「海とダナン名物」

夕方からハン先生と4人で海に行き、少し寒かったけど海に入った。でも時間が経てば経つ程、寒くなってきてすぐに着替えた。海に行く時間帯が遅すぎたと反省した。

晩御飯はダナン名物の“バン チャン クォン ティット ヘアオ”というライスペーパーに薄いモチと野菜と豚肉を巻いて食べる料理を食べた。野菜もたくさん食べれるし、味もおいしくて、3人の口に合う食べ物だった。おいしかったです。



(ダナンの名物)

3月10日

「授業：読解～2年生～」

“わける”という言葉が今日のキーワードで“わける”が使われた文章を3人それぞれ前に出て読んだ。内容は血液型の話で、日本では血液型ブームとかあってほとんどの日本人が自分の血液型を知っているが、このクラスの半分は自分の血液型を知らなかった。私がアメリカに行った時も血液型を知っている人はあまりいなかった。多分、血液型にこだわっているのは、日本人だけだと思う。あともう1つ思ったことは、先生たちもおしゃっていたけど、教科書の例文はとても分かりにくいと思った。もっと日常でも使いやすい言葉があるはずなのに、生徒たちが使っている教科書の例文は私たち日本人でも理解しにくい例文もたくさんあった。その辺りを改善した方がいいと正直思いました。

「犬・・・」

ベトナムの一部では犬肉を食べるという習慣があり、生徒の中にも犬肉を食べたことがある生徒も少なかったが何人かいた。日本では絶対に犬肉を食べる機会はないので勇気を出してハン先生と一緒に犬肉を食べに行った。犬肉は見た目チャーシューのような感じで言われないと分からない感じだった。ただとても生臭くて、犬肉につけるタレに

はその匂いを消すためにたくさんの香辛料が使われているらしい。食べれないことはなかったけど、私はもう2度と食べたくないです。他にもいろんな動物を食べているはずなのに、どうしても犬を食べるということは出来ないと思った。ただ、おもしろいことに、犬肉を食べると体から犬肉の匂いがするらしく、時々犬に追いかけることもあると先生が言っていた。それ程、犬肉の匂いはきついんだと実感した。でも日本では経験できないことだから、とても勉強になった。

3月11日

「授業：会話～1年生～」

今日は日本人の松林先生の授業に参加した。クラスは1年生なので、基本的な文法の勉強だった。生徒に教科書に載っている文を読ませて、ベトナム人の苦手な「つ」の発音やイントネーションなどこまかい所を先生が指摘しながら、練習していた。この授業ではわたしたちの出番はほとんどなく生徒と一緒に授業を聞いていた。ただ、やはり教科書に載っている例文の内容が難しくて、いい教材を使っているとは思えなかった。もっと使いやすい教科書はあると思いました。



（松林先生の授業の様子）

「鶏肉料理とプリン」

恵利華が体調を崩してしまい、伸太郎も他の予定があったため、今日の晩御飯はハン先生と私の2人だけで食べに行った。晩御飯は鶏肉料理と白ごはん、普通においしかった。ベトナムに来る前にプリンがとても有名という情報を手に入れて、どうしてもプリンが食べたいと言ったら先生が連れて行ってくれた。プリンにかき氷のようなものがかけられていて、コーヒースロップをかけて食べるのがベトナム流らしい。でも、味は甘すぎず丁度よくておいしかった。食後のデザートにピッタリ！

3月12日

「授業：会話～2年生～」

今日で外語大での最後の授業……。最後の授業は2年生のクラスで先生からの提案でみんなに折り紙を教えたらどうか？ということで、鶴とお手玉の作り方を教えた。鶴は生徒の中には何度か作ったことがある子もいてスムーズに作れる子もいた。みんな無事に鶴を作り終えて、その次にお手玉の作り方を教えた。でも作り方を知っているのは私だけだったので、ゆっくり一つ一つの工程を説明しながら作り方の説明をした。でも、みんなスムーズに作っていて、あっという間に完成した。無事に作ることができて、達



成感を感じることが出来た。自分は分かっている、それを人に教えるとなると相当の努力が必要なのだということを実感した。

(2 年生との集合写真)

「ミークワン」

昨日、1年生の授業の時に、お昼御飯を一緒に食べる約束をしていた。今日、それぞれ授業が終わってから待ち合わせをして、町にあるミークワンのお店へ行って、1年生と一緒に食べた。ミークワンはダナン名物の食べ物でフォーのスープが少ないバージョンみたいな感じだった。具は豚肉とエビが入っていて、日本料理にはない味だったけど、おいしかった。

「五行山」

お昼から次は2年生7名と一緒に五行山という山に登りに行った。五行山にはさまざまな神様がそれぞれの山に祀られていて、とても神秘的な場所だそうです。五行山にはいくつも洞窟があって、それぞれの洞窟には意味があった。少し険しい崖を登って、頂上らしき所までたどり着くと、そこにはダナンの街と海を見ることが出来た。登った甲斐があった。久しぶりに汗をかいた気がします。



(五行山からの景色)

「卵」

ダナン最後の夜にハン先生がホテルまで来て、卵を見せてくれるということで、ホテルの前にある屋台に行って、ハン先生が卵を買った。卵と言っても、普通の卵ではなくて、雛が孵化する手前の卵でベトナム人にとっては夜のおやつとして好まれているらしい。ベトナム人にとってはごく普通の食べ物だが、日本人にとっては衝撃が強すぎた。卵を割ると、硫黄の匂いがして、私たちはとてもじゃないけど、食べることは出来なか

った。ハン先生もその卵は苦手らしい。でも、私たちに見せるために、わざわざ買ってきて本当にありがたいと思った。とてもいい経験が出来た。

3月13日

「最後にバインセオ」

今日は授業はなく、私たちは日本に帰る準備で追われていた。お昼御飯を日本語科の先生方と食べに行く予定になっていて、お昼に学校に行って。私たちのリクエストでバインセオを食べに連れて行ってもらった。バインセオは何度食べてもやっぱりおいしいです。また、いつかベトナムに来たら必ずバインセオを食べに行こうと思う！

「見送り」

お世話になったホテルのオーナー夫妻や他の従業員の方に鶴のプレゼントをして、一緒に写真を撮ってさよならした。

それから一番お世話になったハン先生が空港まで私たちの見送りに来てくれた。最後別れる時にはハン先生は泣いくれた。その気持ちが私はとても嬉しかった。「また会いにくるよ」と約束をして、私たちはベトナムとさよならした。



(ホテルの人と最後にピース!)